

第9回神戸マラソン ランナーエピソード
(つなぐ～神戸を走る私から被災地へ～)

お名前	都道府県	
松本 功	大阪府	私は今年還暦を迎えた右下腿義足ランナーです。小学4年生の時に肉腫という病気で右足を切断し、以後運動とは無縁の人生だった私が50歳でスポーツ義足と出会い、いろんな方のサポートで現在フルマラソンを完走できるまでになりました。このような経歴の私を仙台教育委員会の方が注目してくださったことからご縁ができて、2年前から被災地を含む仙台の小学校で障害者としての私のことを小学4年生の子供達にお話する機会をいただいております。そんなご縁から被災地の小学校の先生でありまたランナーでもある方々とも知り合う事になりました。今回の神戸マラソンではそんな被災地から神戸に走りに来られる先生と一緒できる事になりました。そして私も今年7月仙台で行われた義肢装具学会で義足モデルとして参加した際に先生方とお会いし、初めて仙台空港周辺の被災地を一緒に走る事ができ改めて震災の凄まじさを目の当たりにしました。今回、震災を経験した神戸を東北の被災地から来られる先生方と走る事でさらに絆を深める事ができる事を嬉しく思い、また楽しみにして走りたいと思います。
koh	兵庫県	昨年初めてのフルマラソンで『忘れんばい熊本』と書いたシャツを着て神戸の街を走りました。新聞で取り上げていただき、故郷熊本で復興にがんばる友人たちも記事を見て、「俺もがんばる！！」「熊本のためにありがとう」と言われました。そして沿道の方にも、熊本がんばれー！！忘れてないよ～！！と温かい声援をたくさんもらいました。今年も神戸の街を走るチャンスをいただいたので、故郷熊本の被害が忘れられないよう、そして、まだまだ復興にがんばってる、熊本の人々へ一歩進む力を届けられるよう、そして沿道の方々に熊本を忘れないでと今年も『忘れんばい熊本』を背負って、タイムよりも想いのこもった走りでの完走を目指します！！
カド子	兵庫県	阪神大震災で被災した私にできること。 57歳メタボ体型の私ですが、愛する神戸の街のマラソンで完走を果たすことにより、お世話になった全ての皆様へ感謝の気持ちと、それ以降も次々起こる天災で被災された皆様に、全力の！渾身の！エールを届けたいのです！！
齋藤 裕彦	兵庫県	1985年1月17日、私は大阪府豊中市で被災しました。 え？大阪でも被害あったの？と思われる方も多いでしょう。住んでいたマンションは全壊判定され、仮設暮らしを経験しました。 縁があって今は神戸で仕事をし神戸で暮らしています。 元気になった神戸を見ていただくことで、復興道半ばの被災地の方々が勇気を持っていただけたらと思います。 いつの日か必ず心から笑顔になれる時が来ます。 その時が来るまで共に頑張りましょう。
クロぼ	宮城県	きょ年に続いて、神戸マラソン走るニャ。 2017年に地元の東北・みやぎ復興マラソン走ってから、復興の絆3大会の存在知って、2018年の東北・みやぎ復興マラソン、神戸マラソン、2019年の熊本城マラソンとれんぞくで走ったニャ。 被災地に元気をあたえる、というとおこがましいとこあるけど、ボクでも力になれるばいなと思って、現地の食べ物とかくって、ねて、あそんだニャ。でもじっさいは、応えんされたりで元気もらってるような気がするニャ。 きょ年もらったひまわりタネ、植えたら庭に大きいのがいくつか咲いたニャ。うんよくこしも神戸をまた走ることでできるので、きょ年はゴールあとと救護にはこぼれたけども、そんなことがないように、ひまわりのように明るく元気に、しっかり走りきれるようがんばるニャ！